



著者プロフィール

中本真人（なかもと・まさと）

新潟大学人文学部准教授

1981年奈良県北葛城郡新庄町（現葛城市）生まれ。
慶應義塾大学大学院文学研究科国文学専攻後期博士
課程修了。博士（文学）。

専門は、日本歌謡文学、芸能論。特に宮廷の御神楽を
中心とする古代中世芸能史を研究している。

著書に『宮廷御神楽芸能史』（新典社、2013年）、『宮
廷の御神楽—王朝びとの芸能—」（新典社新書、2016
年）、『内侍所御神楽と歌謡』（武蔵野書院、2020年）、
『なぜ神楽は応仁の乱を乗り越えられたのか』（新典
社選書、2021年）。

また俳人としては、三村純也に師事。俳句雑誌『山茶
花』瞳々集選者・飛天集同人。俳人協会会員。句集に
『庭燎』（ふらんす堂、2011年）など。

〈『新潟医科大学の俳人教授たち』より転載〉

〈2024年3月31日時点〉